

# ラミネーター巻き込み予防対策

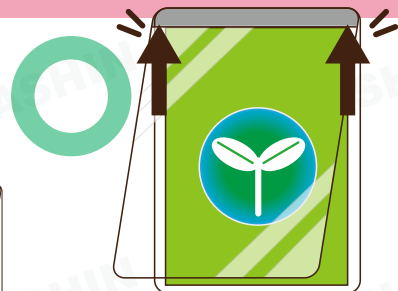
加工したい紙をフィルムの奥まで、はさみ込んで下さい。

紙をフィルムの奥（シール部分：先端から2～3mmの接合部）にしっかりと押し当て、はさんで下さい。

フィルムの余白が多いと、熱で溶けたり巻き込まれます。



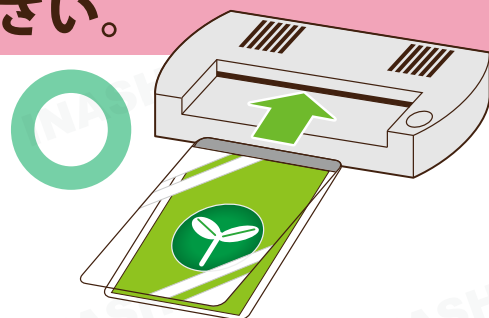
適切なサイズのラミネートフィルムがない場合は、空いたスペースに「捨て紙」を入れ、ラミネートしてからカットして下さい。



ラミネーターに差し込む方向にご注意下さい。

必ずラミネートフィルムのシールされた辺（接合部）を前方にしてラミネーターに挿入して下さい。開いている辺から挿入すると、フィルムが巻き込まれて内部に詰まってしまいます。

なお、同じ紙質のものでテストしてから進めることを推奨します。

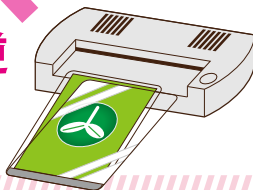


**おやめ下さい→**

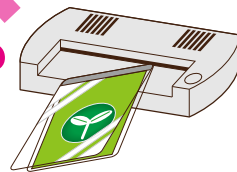
このような通し方は、巻き込みの原因となり有償修理対象となります。



**逆**

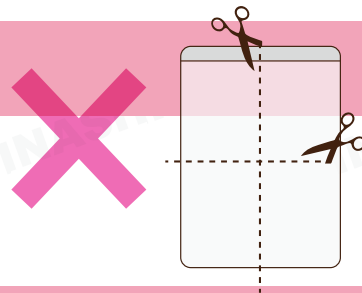


**斜め**



加工前にフィルムを切らないで下さい。

ラミネートする前にフィルムを切らないで下さい。  
巻き込み、故障の原因になります。



フィルムを継ぎ足さないで下さい。

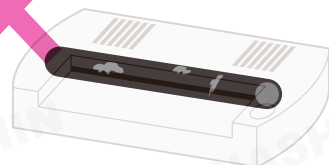
フィルムは1枚ずつでラミネーターに通して下さい。



使用後はこまめに清掃して下さい。

フィルムの粘着剤がローラーに溜まっていると詰まりの原因になります。加工後にクリーニングを行い、こまめに汚れを取り除いて下さい。

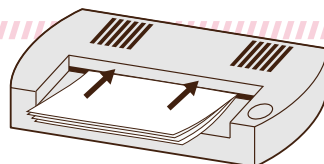
ローラーにのりやゴミが付着している



## ローラーのクリーニング方法

画用紙などの中厚紙、または白紙のコピー用紙\*を2枚重ねて二つ折りにしたものを、1回ごとに違う面で10回程度、空通しして下さい。

\*コピー済の紙はトナーがローラーに付くので、使わないで下さい。



折り目の方から、通して下さい。